

Equalizer への Xcelカード取り付け手順について

本資料では Equalizer SIシリーズへのXcelカード取り付け手順を説明しています。

作業前のご注意	P2
E350si/E450si	P3 ~ P6
E550si	P7 ~ 13
取り付け後の確認	P14 ~ 15

本資料はファームウェアバージョン 7.2.4e 用に作成されています。

SIシリーズ旧ロゴ筐体 (<http://www.networld.co.jp/coyote/news070301.htm>)へのXcelカード取り付けは
http://www.networld.co.jp/coyote/support/XCEL_CSR_Server.pdf
をご覧ください。

本書の内容は予告なく変更することがあります。
本書の内容について、(株)ネットワークは如何なる責任を負うものではありません。
本書の内容の無断転写はできません。
バージョンによって画面イメージが異なる場合があります、ご了承下さい。



作業前のご注意

EqualizerをShutdownし、電源プラグを必ず抜いて下さい。

金属に触れるなどして、体内の静電気を放電して下さい。

濡れた手では絶対に作業を行わないで下さい。

XCEL の基盤部分、スロット差込口の金属部分には触れないで下さい。

コード等を傷つけると不具合の原因となります、ご注意下さい。

冗長化構成にて運用の際は、Equalizer と Xcelカードのシリアル番号を組み合わせて保管をお願い致します。

メーカーへ機器情報の登録を行う際に必要になります。

Xcelカード取り付け作業後、場合によってはファームウェアの再度インストールが必要になります。

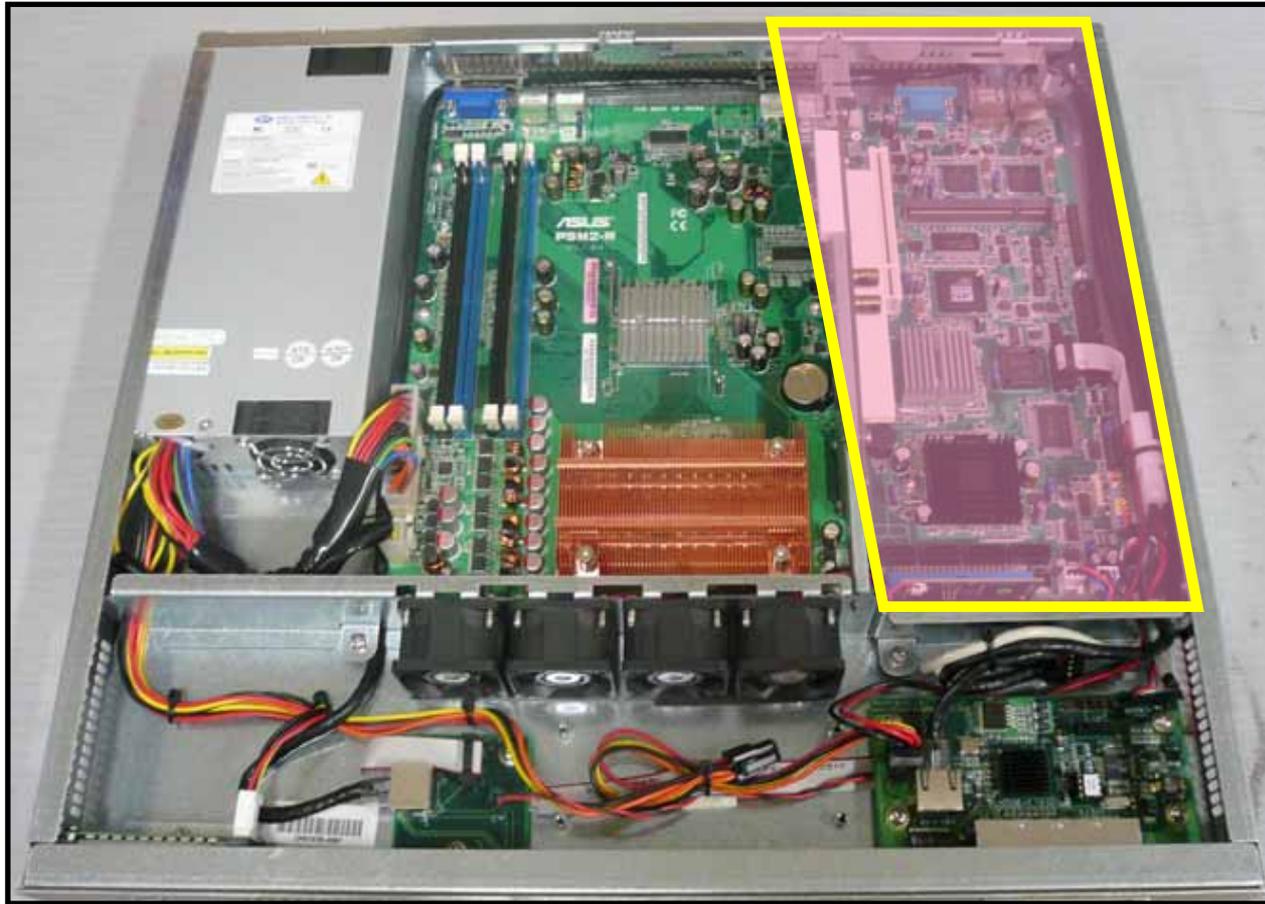
作業前に Tec-World(<https://hds.networld.co.jp>)へファームウェア提供のご連絡を頂きますと、弊社よりダウンロードURLをご返信いたします。

(上記ご連絡でインシデントは消費しません)

ご連絡の際は下記3点の情報をご提供下さい(冗長構成の場合は2台分)：

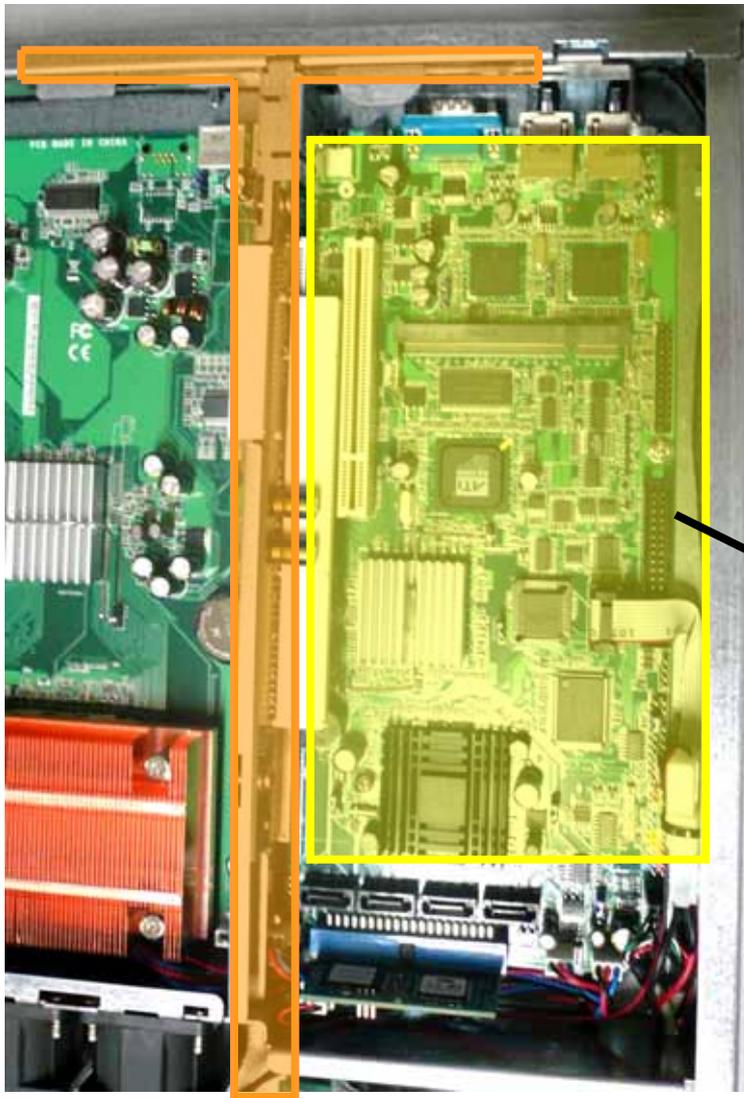
- Equalizerのシリアル番号
- EqualizerのSystemID
- 取り付けるXcelカードのシリアル番号

E350si / E450si へのExcelカードインストール手順



Equalizerの内部へアクセスする為には、筐体周りのネジを外します。
筐体左右：それぞれ3本ずつ、計6本
筐体後ろ： 3本

筐体上部分を外したEqualizerを正面から見ると、上図のようになります。
Excelカードを取り付ける箇所は、黄枠で囲まれている部分です。



前スライドの黄枠付近の拡大図です。

Xcelカードが取り付けられるのは
T字型金具(オレンジ枠部分)になります。

→ Xcelカードはここに取り付けられます。

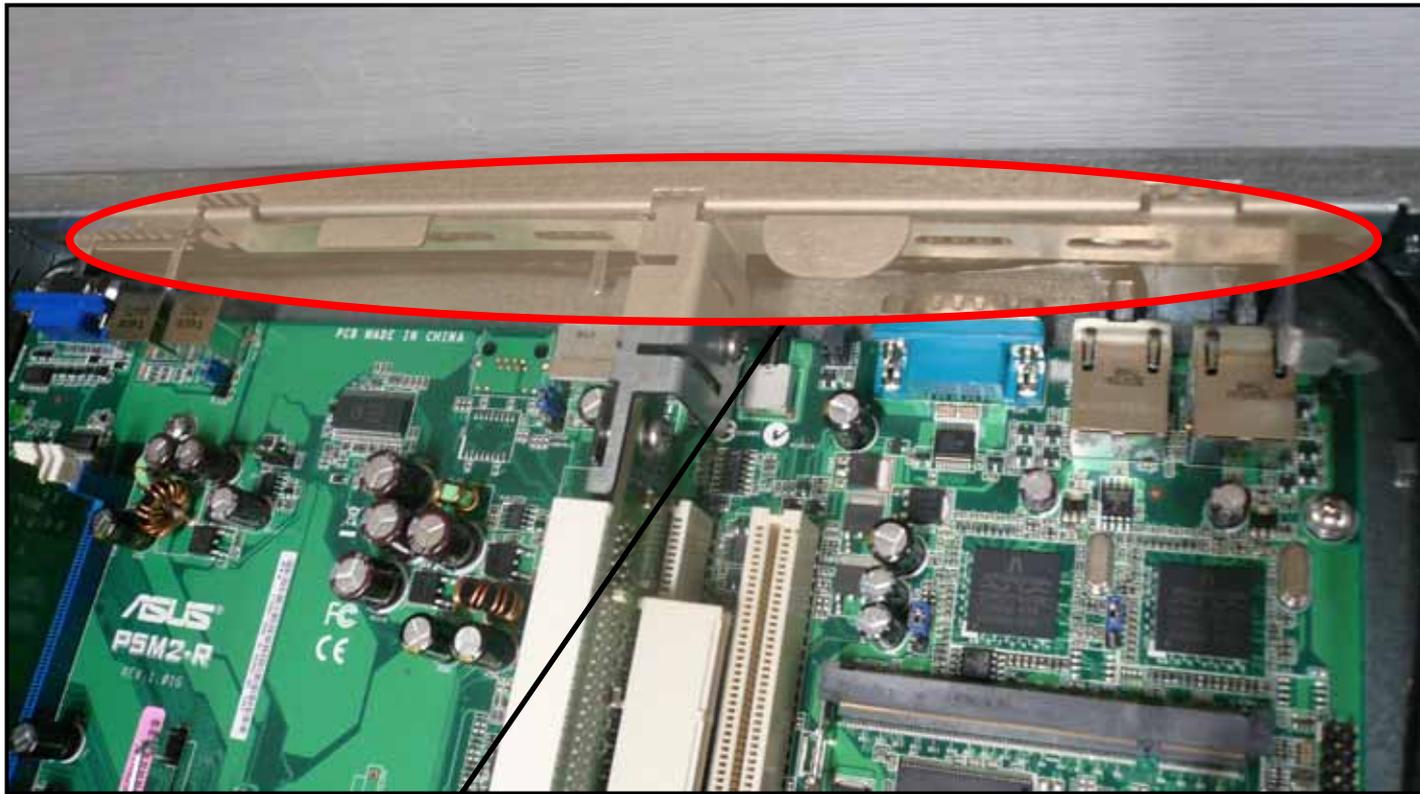
作業手順：

T字型金具を取り外し

Xcelカードを取り付け

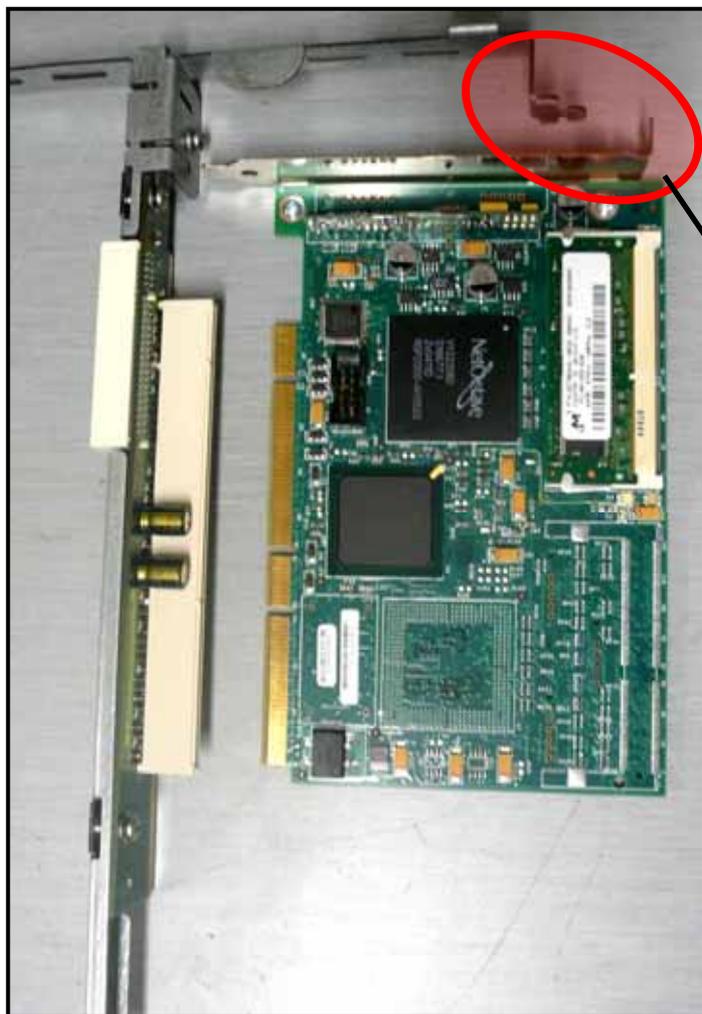
T字型金具の取り付け

(ファームウェアのインストール)



T字金具を取り外すには、上部分を引き抜きます。

T字の先端部分は 筐体反対側に引っかかっています。



T字金具とXcelカードです。

この位置から、XcelカードをT字金具に差し込みます。堅い場合もありますが、ゆっくり根元まで押し込む必要があります。

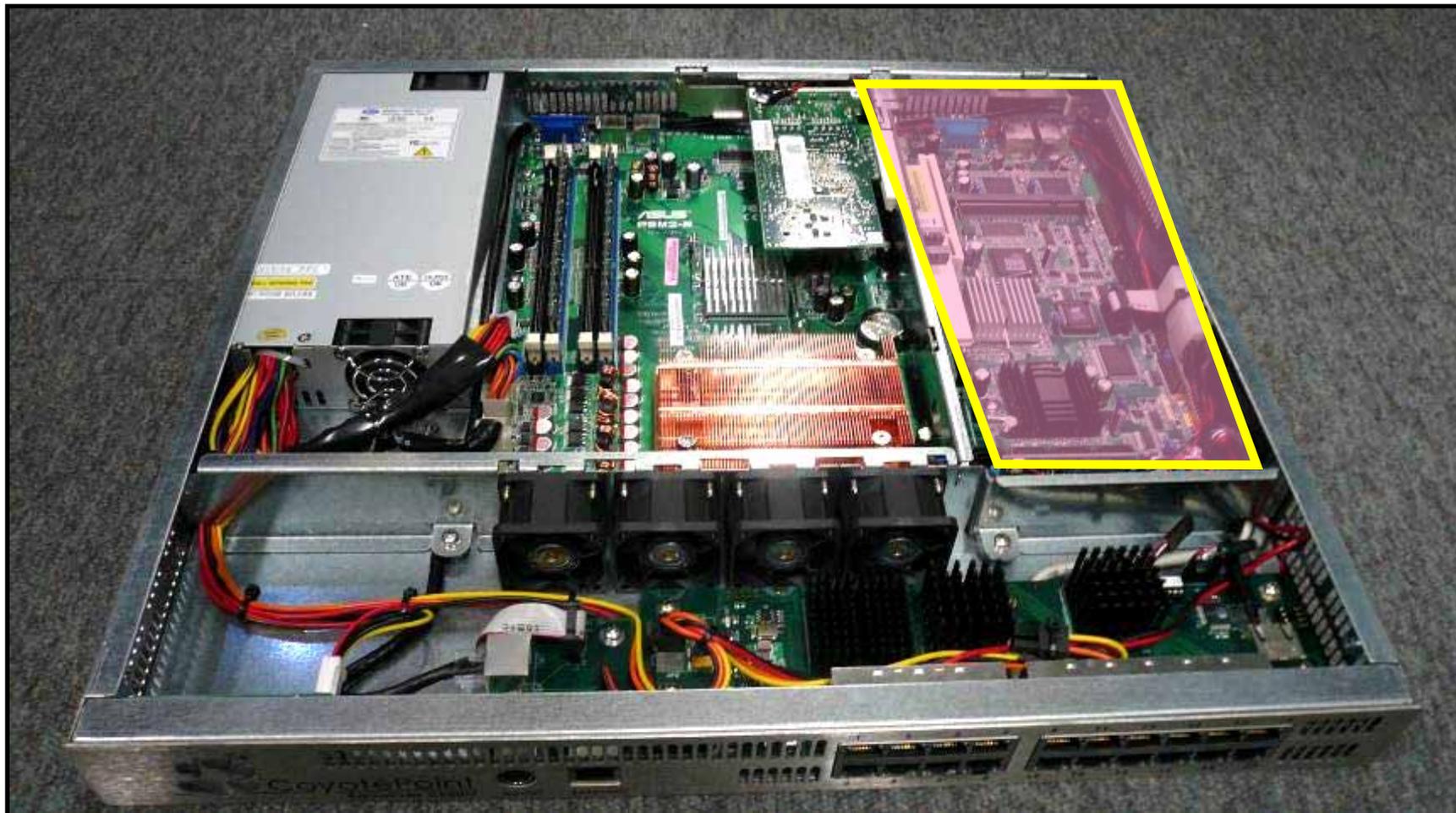
差し込んだ後、この金具を引っ掛け部品を固定します。

Xcelカードを差し込んだら、部品を元に戻します。T字先端部分から筐体に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

この後、Web画面よりXcelカードが有効になっているかどうか確認します。

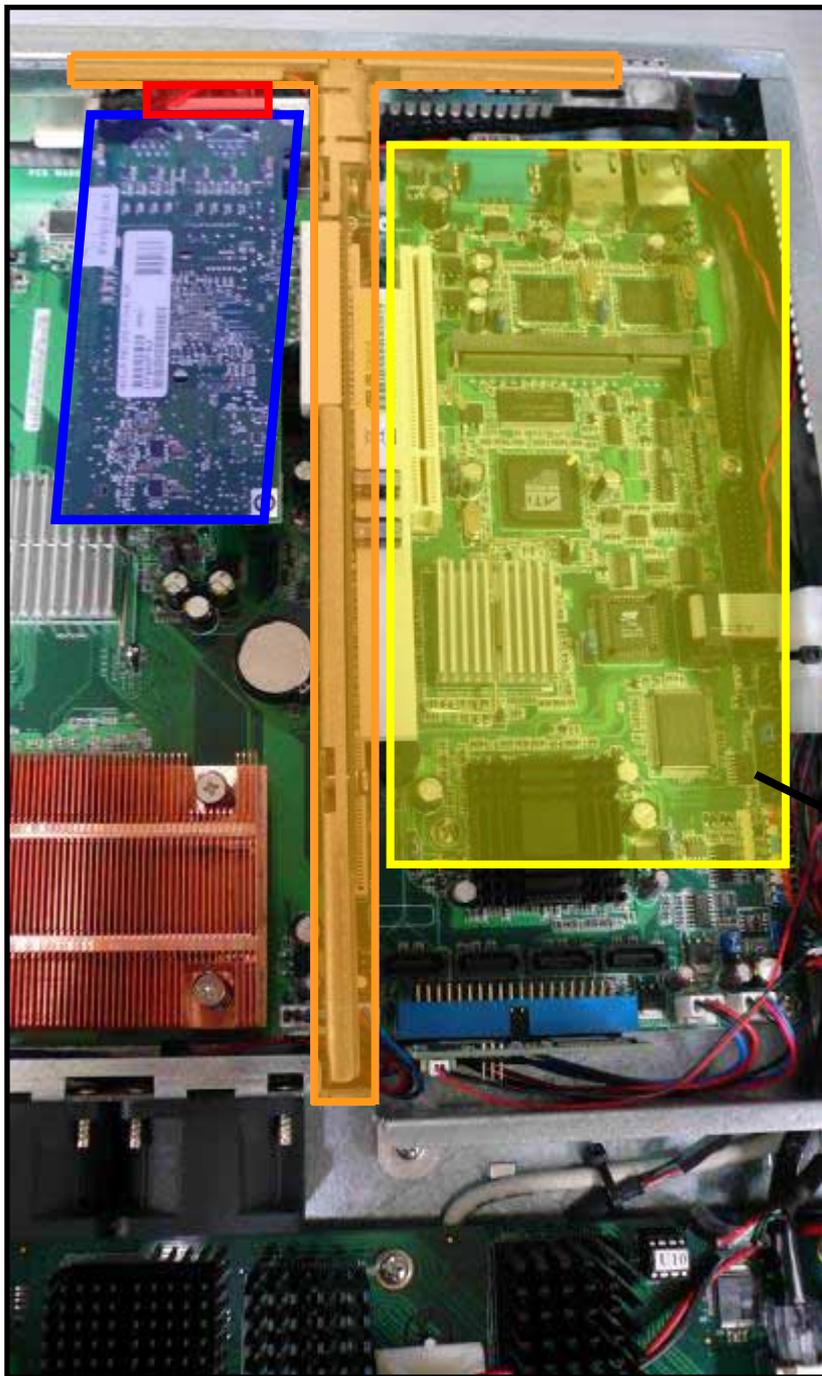
(P14)

E550si へのExcelカードインストール手順



Equalizerの内部へアクセスする為には、筐体周りのネジを外します。
筐体左右：それぞれ3本ずつ、計6本
筐体後ろ： 3本

筐体上部分を外したEqualizerを正面から見ると、上図のようになります。
Excelカードを取り付ける箇所は、黄枠で囲まれている部分です。



前スライドの黄枠付近の拡大図です。

実際に作業するパーツは3つになります。

- ・ Xcelカードが取り付けられる
T字型金具(オレンジ枠部分)
- ・ LANケーブルが接続されている
PCI-Expressボード(青枠部分)
(T字型金具にも接続されています)
LANケーブルは赤枠部分に接続されています。
- ・ PCI-Expressボードと接続されている
LANケーブル 2本(赤枠部分)

Xcelカードはここに取り付けられます。

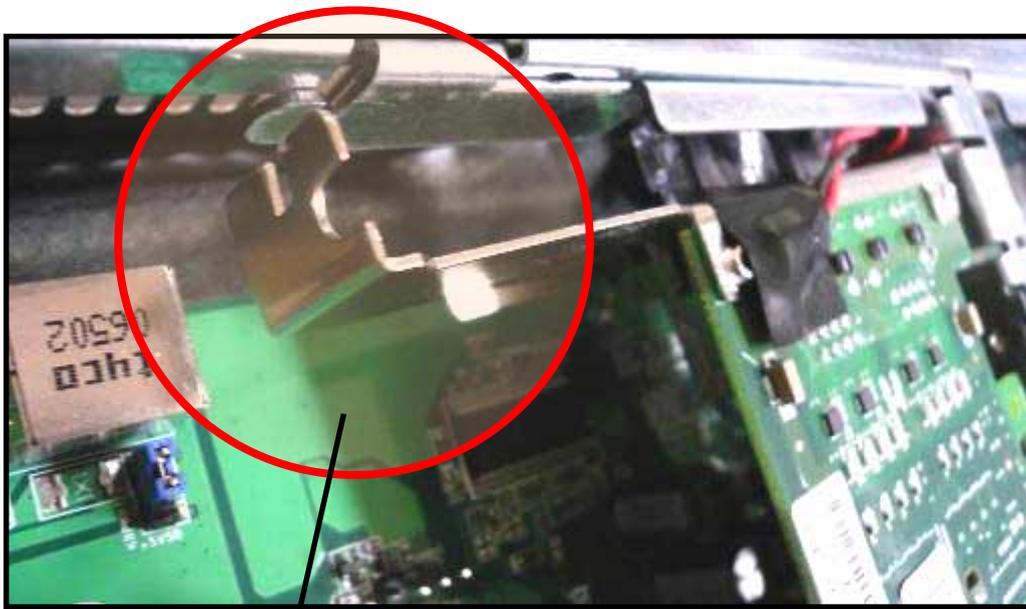
作業手順：

T字型金具を取り外し
Xcelカードを取り付け
T字型金具の取り付け

(ファームウェアのインストール)

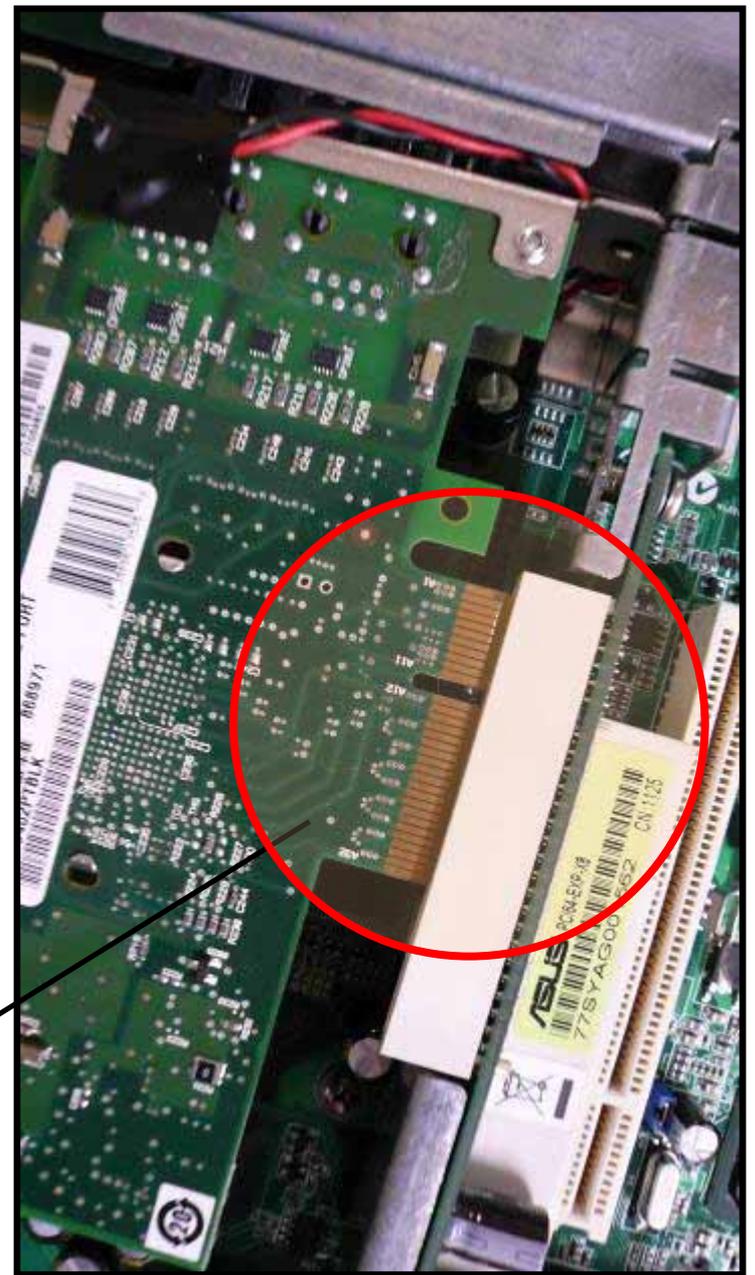


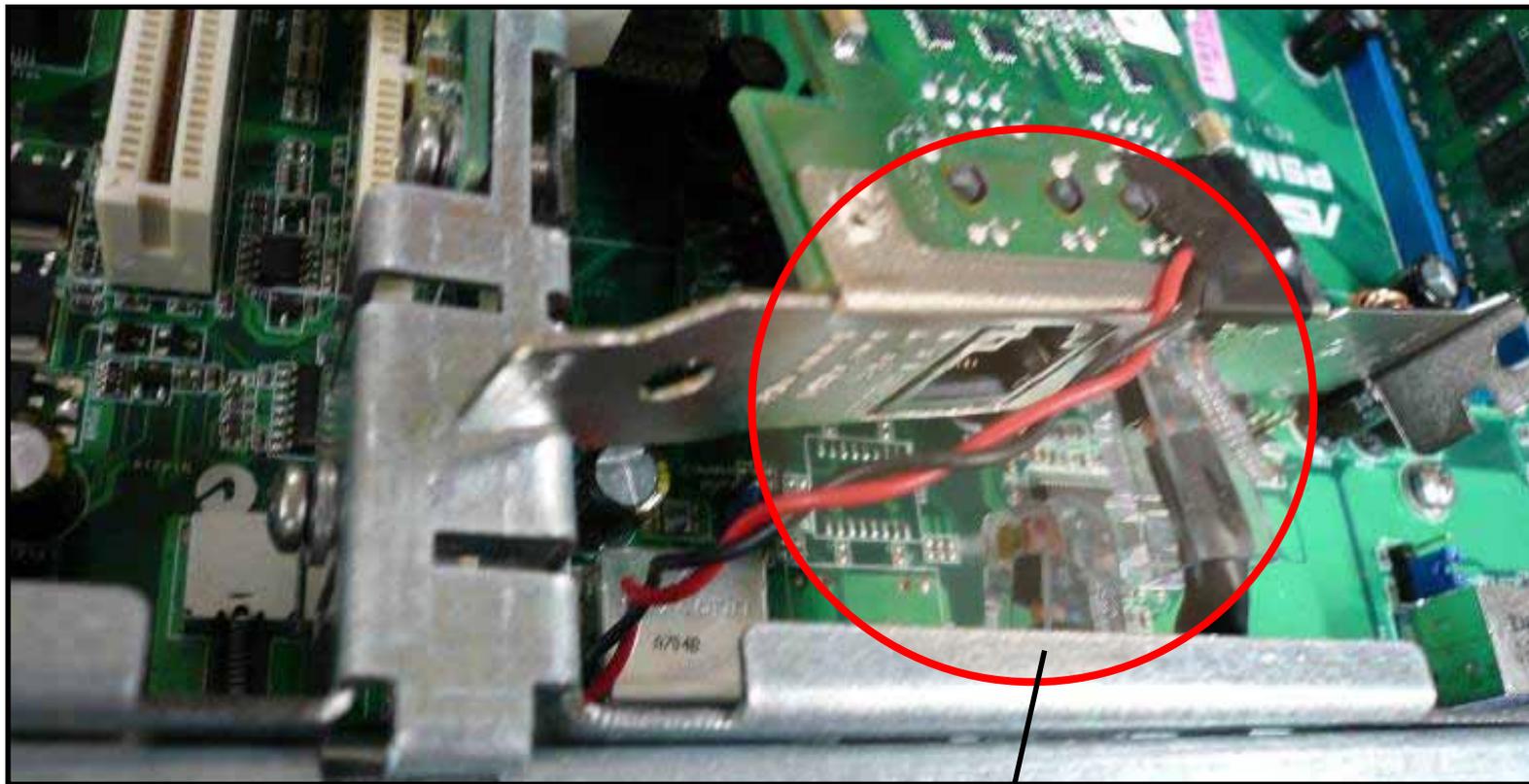
T字金具を取り外すには、
上部分を引き抜きます。
左右のツメが本体に引っかかっています。



PCI-Expressカードと T字金具がつながっている部分を外します。

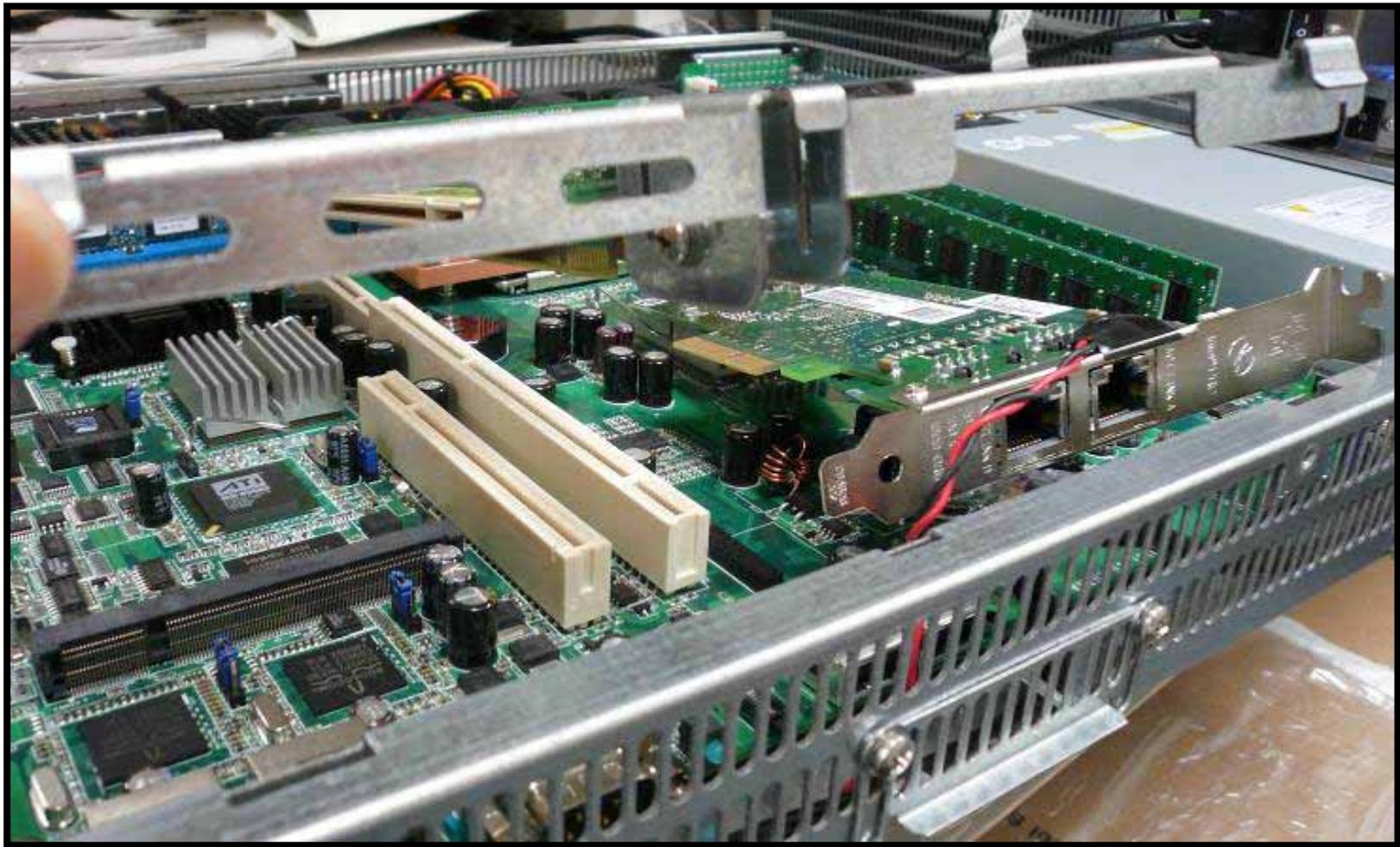
T字金具と接続されている端子を左側に引き、外します。





PCI-Expressカードを引き抜きながら、LANケーブルを外します。

PCI-Expressカードには電源ケーブルが接続されています、
損傷させないように、注意して下さい。



PCI-Expressカードを外すと、T字金具を上引き抜くことができます。



T字金具とXcelカードです。

この位置から、XcelカードをT字金具に差し込みます。堅い場合もありますが、ゆっくり根元まで押し込む必要があります。

差し込んだ後、この金具を引っ掛け部品を固定します。

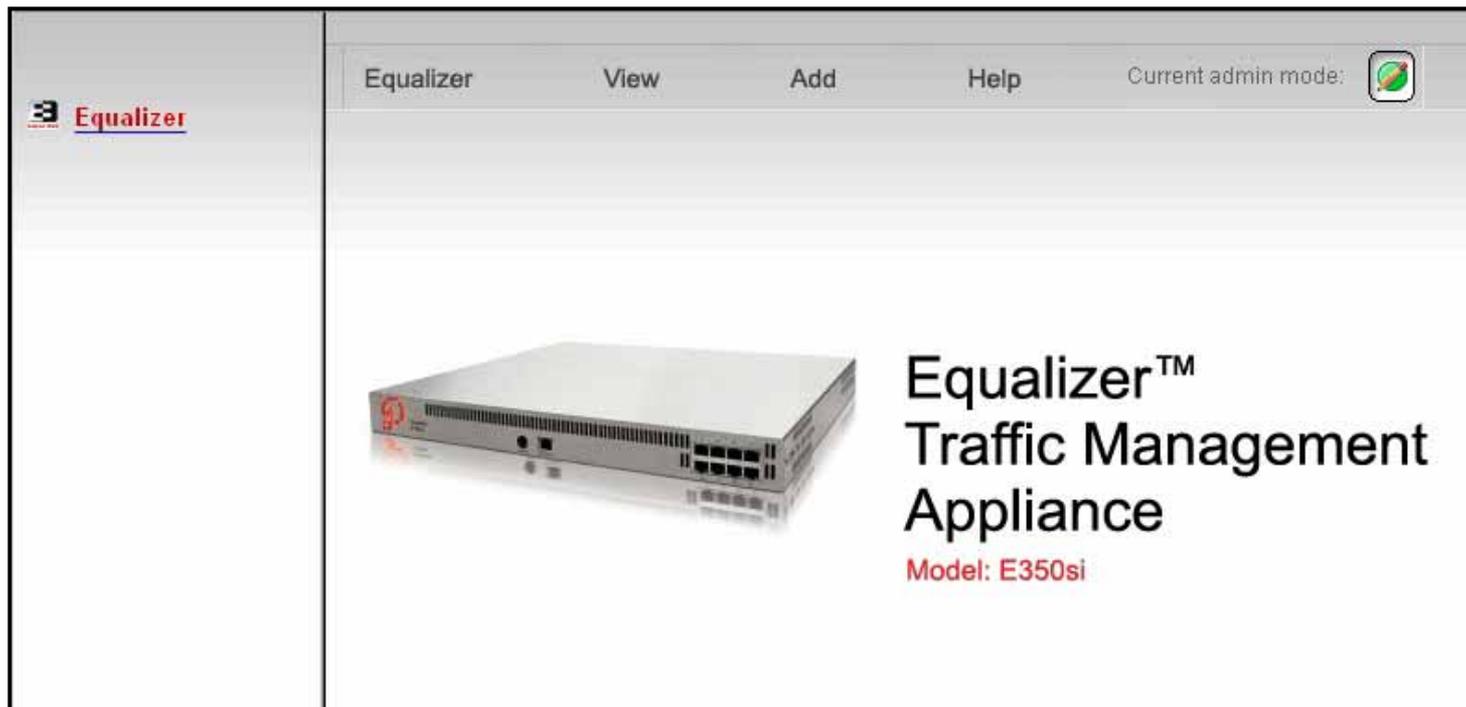
Xcelカードを差し込んだら、部品を元に戻します。T字先端部分から筐体に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

LANケーブルの再接続を忘れないように気をつけてください。

この後、Web画面よりXcelカードが有効になっているかどうか確認します。

(P14)

取り付け作業の確認



Webブラウザから、Equalizer Web管理画面へアクセスします。

上記のように Equalizer 筐体が表示され、型番(E350si など)が表示されていれば問題ありません。

もし筐体写真が薄く表示され "unlicensed" と表示されていた場合は、**ファームウェアを再度インストールして頂く必要**があります。

インストール手順はファームウェアご提供時の手順書をご確認下さい。



Equalizer version 7.2.4e

system ID

serial no.

platform

external interface em0

internal interface em1

external address 10.15.100.151

internal address 10.15.101.151

passive FTP translation disabled

failover mode primary

Envoy geographic load balancing disabled

SSL acceleration Xcel I

L4 total connections processed 0

L4 peak connections processed 0 per second

続いて、左上 “Equalizer” をクリックします。

上記のように “SSL acceleration Xcel I” と表示されていれば Xcelカードは正常に認識されています。もし “Disable” と表示された場合は正常に認識できていません。ファームウェアインストールを行ったか、また Xcelカードの取り付けがしっかり行われているか、ご確認下さい。